

韮崎市立病院院内保育所きらきらぼし 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年4月3日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「思いっきり遊ぶ 思いっきり学ぶ」の理念にのっとり、子ども達それぞれの個性を捉えながら保育計画を立て実施した。
子どもの発達援助	日中の保育園や学校での活動にも配慮しながら、夜間保育ではゆったりと過ごせる時間や空間づくりに努め、個々の発達段階にあった遊びの提供を行った。
保護者に対する支援	保護者様が安心してお仕事ができるよう、連絡ノートやお迎え時にはその日にあった出来事を具体的に丁寧にお伝えするよう心掛けた。
保育を支える組織的基盤	夜間に振り返りミーティングを行うことで、保育の質の向上と、保育士間のコミュニケーションを図る時間を目指した。まだまだコミュニケーション不足は否めない。

総評
前半は保育士の入れ替わりが多くあったので、子どもたちも落ち着かない様子や行動が見られていた。後半、新しい保育士が加わり固定された保育士2人となったことにより、子ども達の生活面も落ち着いた。一方、保育士間のコミュニケーションや「報・連・相」が行き届かずトラブルが続いてしまい保護者様には不安な気持ちを抱かせてしまった。保育士それぞれが、問題点を自分事としてとらえ、改善点を生かし保護者様からの信頼を回復できるよう努めていきたい。